

10月の安全衛生歳時記

2023年10月の安全衛生カレンダー

1日～6日

9月1日～10月31日◎自動車点検整備推進運動強化月間（自動車点検整備推進協議会、国土交通省）

◎緑の募金 秋の募金月間（国土緑化推進機構）

10月1日～31日◎健康強調月間（健康保険組合連合会、厚生労働省） ◎体力づくり強調月間（文部科学省）

◎乳がん月間（厚生労働省） ◎臓器移植普及推進月間（厚生労働省） ◎骨髄バンク推進月間（厚生労働省）

◎3R（リデュース・リユース・リサイクル）推進月間（経済産業省） ◎産業標準化推進月間（経済産業省）

◎LPガス消費者保安月間（経済産業省） ◎全国・自然歩道を歩こう月間（環境省）

◎全国漁船安全操業推進月間（全国漁業協同組合連合会ほか） ◎高齢者就業支援月間（厚生労働省）

◎木材利用促進月間（林野庁）

10月1日～11月30日◎間伐推進強化期間（林野庁）

1日（日）◎全国労働衛生週間（～7日、厚生労働省・中央労働災害防止協会）

◎国家公務員健康週間（～7日、総務省）

◎全国道路標識週間（～7日、国土交通省）

◎法の日週間（～7日、法務省） ・法の日（1910 [明治43] 年、裁判所が開設されたのを記念、法務省）

・省エネの日（毎月1日）

・国際高齢者デー（国連）

・福祉用具の日（経済産業省）

・浄化槽の日（環境省、国土交通省）

・交通違反の点数制が実施 1969（昭和44）

・自動車運転免許の初心者マークが義務に 1972（昭和47）

・労働安全衛生法施行 1972（昭和47）

・日本郵政公社が民営化 2007（平成19）

・消費税が8% から 10%に増税 同時に飲食料品、新聞の税率を据え置く軽減税率が導入される 2019（令和元）

★新潟市で大火、フェーン現象下で 892 棟が焼損、負傷者 235 人 1955（昭和30）

★東海道新幹線開通、東京～新大阪を 4 時間 1959（昭和34）年着工以来の犠牲者 221 人 1964（昭和39）

★建造中の豪華客船が火災 世界最大級（11万6千t）の豪華客船が造船所で建造中に火災、約19時間後に鎮火 長崎 2002（平成14）

★客の放火により雑居ビル内の個室ビデオ店から出火、16人死亡、9人重軽傷 大阪・浪速区 2008（平成20）

2日（月）・関越トンネルの開通により、関越自動車道が全通 1985（昭和60）

★シランガスボンベが爆発 大学の研究室でIC素材の実験中、2人死亡、5人負傷 大阪・豊中 1991（平成3）

3日（火）・ドイツ統一の日 45年ぶりに東西ドイツが統一された 1990（平成2）

・遭難信号「SOS」が決まる 1906（明治39）年、第1回無線電信会議（ベルリン）で

★三宅島の雄山が噴火、溶岩で山林や集落が炎上、413棟が全焼 1983（昭和58）

★道路脇の看板張替え作業中スライド式ハシゴが外れ3人転落、1人死亡2人負傷 北海道・札幌 2012（平成24）

4日（水）・国立競技場完成 東京・千駄ヶ谷 1963（昭和38）⇒新国立競技場として生まれ変わる 2019（令和元）11月30日

★北海道東方沖地震 根室沖でM8.2の巨大地震、343人負傷、北方領土で11人死亡 1994（平成6）

★病院でMRI機器交換のため液体ヘリウムを抜く作業中爆発して8人重軽傷 福島・いわき 2003（平成15）

5日（木）・在日米海兵隊が新型輸送機オスプレイの沖縄配備を完了 2012（平成24）

・マイナンバー法施行、番号通知カードの発送が始まる 2015（平成27）

★自動（無人）運転の新交通システムが逸走 車止めに衝突して217人負傷 大阪 1993（平成5）

★発電機の排ガスで一酸化炭素中毒2人重傷 首都高の橋脚で塗装剥がし中、橋脚内に発電機の排ガスが充満 2004（平成16）

6日（金）・国際協力の日（外務省）1954.10.6 コロンボ計画への加盟を閣議決定加盟、開発途上国への開発援助 [ODA] を開始

★産廃埋立地で硫化水素中毒 水質検査をしていた1人が倒れ、助けに入った2人計3人死亡 福岡・筑紫野 1999（平成11）

★鳥取県西部を震源とする地震（M7.3）、最大震度6強、182人負傷、全半壊約3千棟 2000（平成12）

★茨城・宮城沖で強風による船舶事故 パナマ船籍の貨物船が座礁し死者不明10人、さんま漁船が転覆し死者不明16人 2006（平成18）

10月の安全衛生歳時記

7日~16日

- 7日(土)・盗難防止の日(とう[10]なん[7]の語呂合わせ、日本損害保険協会)
★クレーン車が架線を切断、感電して2人重傷 鉄道車両基地でレール交換作業中 山形・山形 2004(平成16)
★工業用原料製造工場で、粉砕機でシリコンを粉砕中爆発・火災、2人重軽傷 兵庫・尼崎 2019(令和元)
★リニア試験車両内で火傷 電気回路のスイッチを入れたところ火花発生、作業衣に着火して点検作業員3人重軽傷 山梨・都留 2019(令和元)
- 8日(日)○古紙リサイクル週間(～14日、10月第2週、経済産業省)
・寒露(かんろ) 24節気の一つ、草花に冷たい露が宿る頃(年によって変わる)
・骨と関節の日(日本整形外科学会、ホネの「ホ」を分解すると十と八になることから)
・木の日(林野庁、「木」の字を分解すると十と八になることから)
★神奈川県・相模湖で定員オーバーの遊覧船が転覆、修学旅行の中学生22人が水死 1954(昭和29)
★化学工場でポリプロピレン製造装置が爆発炎上、4人死亡、11人員負傷 千葉・市原 1973(昭和48)
★海上暴風警報が出る強風下で航行中の遊漁船が転覆、死者不明5人、負傷1人 静岡・下田沖 2006(平成18)
★スーパー新築現場で水道管を掘出すため掘削した溝で土砂崩壊、2人死亡、1人負傷 山口・岩国 2015(平成27)
- 9日(月)・トラックの日(日本トラック協会、10と9で「トラック」と読む語呂合わせから)
★石油油槽所改修工事で配管フランジ部からガソリン流出・火災、3人死亡、1人負傷 長野・上田 1994(平成6)
★平成16年台風22号 伊豆半島～関東地方で死者不明9人、損壊・浸水家屋13,000棟以上、地下鉄駅で線路冠水 2004(平成16)
- 10日(火)・目の愛護デー(厚生労働省、日本眼科医会、「10・10」を目に見立てて)
・製品安全点検日(毎月第2火曜、経済産業省)
・転倒予防の日(日本転倒予防学会、「てん(10)とう(10)」(転倒)と読む語呂合わせから)
・LPガス消費者保安デー(毎月10日、高圧ガス保安協会)
・世界メンタルヘルスデー(WHO)
★鋼板製造工場で、メッキ用溶解亜鉛が容器から飛び散り6人火傷 千葉・千葉 2007(平成19)
★住宅解体現場で整地作業中に石塀(高さ約2m、幅約14m)が崩れ、作業員が下敷きで死亡 東京・町田 2022(令和4)
- 11日(水)○全国地域安全運動(～20日、警察庁)
・安全・安心なまちづくりの日(警察庁)
・国際防災の日(10月第2水曜、国連)
・鉄道安全確認の日 日本初の鉄道事故が発生(駅構内でポイント故障で脱線) 東京・新橋 1874(明治7)
★マンション建設現場で、汚水槽設置作業で酸欠で2人死亡 東京・武蔵野 2011(平成23)
★整形外科診療所で火災、死者10人(入院患者8人・病院関係者2人)・負傷5人 福岡・福岡 2013(平成25)
- 12日(木)★特急電車が衝突脱線 JR中央線山梨県大月駅構内で特急電車と回送電車が衝突、78人負傷 1997(平成9)
★クレーン車で吊り上げたベニヤ100枚が落下、下敷きになって2人死亡 埼玉・羽生 2006(平成18)
★LPガススタンドで定期検査準備中爆発・炎上、5人が火傷で重軽傷 貯槽の残ガスに引火 千葉・市川 2014(平成26)
★令和元年台風19号 伊豆半島～関東・東北地方を通過、死者不明88人・負傷476人、建物被害9万棟超 2019(令和元)
- 13日(金)・麻酔の日(日本麻酔科学会) 1804年、華岡青洲が世界初、全身麻酔による乳がん手術に成功
・世界血栓症デー 世界血栓止血学会が世界的に行っていることに呼応して制定(一般社団法人日本血栓止血学会)
★防波堤で急な高波により10数人が海に流され、死者2人・負傷4人 静岡・熱海 2002(平成14)
★突風でクレーン事故2人死亡、5人負傷 鋼管工場などの大型クレーンが突風で操縦室落下、転倒など 茨城・神栖 2003(平成15)
- 14日(土)・鉄道の日 1872(明治5)年、新橋～横浜間に鉄道開通(国土交通省)
・世界標準の日(ISO、経済産業省)
★配管埋設工事中に土砂が崩れ生き埋めになって2人死亡 秋田・山本町 2004(平成16)
★火災報知機設置工事中、高所作業車のゴンドラと鉄骨に挟まれて2人死亡 静岡・静岡 2010(平成22)
- 15日(日)・たすけあいの日(日本社会福祉協議会)
・世界手洗いの日 石鹸を使った正しい手洗いで年間100万人の子供の命が救えると、正しい手洗いを広めるため、2008年、ユニセフが制定
★安全側線に突っ込み脱線した下り列車に上り列車が衝突、40人死亡、96人負傷 参宮線・六軒駅 1956(昭和31)
★製鋼工場で鉄線巻き付け作業中、回転装置に巻き込まれ、頭部外傷で死亡 茨城・土浦 2020(令和2)
- 16日(月)・世界食料デー 開発途上国等での栄養失調や飢餓について考える日(国連)
★北炭夕張新鉱でガス噴出、火災事故、93人死亡 1981(昭和56)
★石油精製工場の脱硫装置が爆発 減圧水素化脱硫装置の触媒交換後、試運転中爆発火災、10人死亡、7人負傷 千葉 1992(平成4)
★台風26号の大雨により伊豆大島で大規模な土砂崩れ、死者不明39人 2013(平成25)

10月の安全衛生歳時記

17日~31日

17日(火)○薬と健康の週間(～23日、厚生労働省)

・貧困撲滅のための国際デー(国連)

★海岸線で発生した地滑りにバスが巻き込まれ海中に転落 死者不明14人、重軽傷25人 北海道・乙部 1967(昭和37)

★貨物船内で漏洩四エチル鉛中毒 船内清掃中、積荷から漏えいた四エチル鉛で中毒、8人死亡 香川・坂出港 1967(昭和42)

★台風20号白浜に上陸、強風、高波、船舶被害多数、115人死亡 1979(昭和54)

★電源開発鬼頭地熱発電所で、地下から水蒸気が吹き上げ作業員2人死傷 宮城・鬼頭 2010(平成22)

18日(水)・統計の日(総務省)

・二輪・自転車安全日(毎月18日、警視庁)

★石油化学工場で合成ゴム添加物製造装置が爆発、2人死亡、2人負傷 神奈川 1973(昭和48)

19日(木)・食育の日(毎月19日、内閣府)

★台風19号が日本縦断 北海道で海難事故多発、死者不明42人 1979(昭和54)

★東名高速で、事故で停車中のトラックに研修会に向かうワゴン車が追突、6人死亡 静岡・掛川 2003(平成15)

20日(金)・世界骨粗鬆症デー(世界骨粗鬆症財団)

・マイカーチェックデー(毎月20日)

・リサイクルの日(ひとまわり[10] ふたまわり[20])

★下水道汚泥除去作業中、作業員2人がマンホール底に転落、硫化水素中毒で死亡 茨城・土浦 2020(令和2)

21日(土)★アルミ工場で爆発火災、3人重軽傷 アルミ粉末分別作業中、450㎡全焼 滋賀・日野 2005(平成17)

★製鉄工場のコーク炉施設内でメンテナンス作業中の作業員2人が酸欠で死亡 北海道・室蘭 2022(令和4)

22日(日)★庄内大地震(M7) 山形県で全半壊家屋6,255棟、消失家屋2,148棟、726人死亡 1894(明治27)

23日(月)○高圧ガス保安活動促進週間(～29日、経済産業省、高圧ガス保安協会)

○精神保健福祉普及運動(～29日、厚生労働省)

・電信電話記念日 1969(明治2)年、我が国初の公衆電話線の建設工事が始められた

・東京五輪バレーボール女子決勝で日本がソ連に3-0で圧勝、「東洋の魔女」が金メダル 1964(昭和39)

★新潟県中越地震、M6級を3回観測、69人死亡、4,805人負傷 2004(平成16)

24日(火)・霜降(そうこう) 24節気の一つ、霜が降り始める時期の意

・国連デー 国連が発足 1945(昭和20)

★造船所でボイラ爆発 発電タービンの試運転中、高圧蒸気ボイラが爆発して4人死亡、61人負傷 長崎 1970(昭和45)

★港に停泊中の台船の船底で排水作業中酸欠、2人死亡 青森・八戸 2018(平成30)

25日(水)・「再生資源の利用の促進化に関する法律」(リサイクル法) 施行 1991(平成3)

★トンネル内の急勾配で誤停止した列車が動き出して暴走、衝突 25人死亡、288人負傷 三重・白山(現・津) 1971(昭和46)

★マンション建設現場で生コンポンプ車のアームが折れて落下 1人死亡、2人負傷 福岡・福岡 2008(平成20)

★令和元年台風21号 関東地方と東北地方の太平洋側で記録的大雨、千葉県を中心に死者13人・負傷8人、家屋損壊多数 2019(令和元)

26日(木)・原子力の日 1963(昭和38)年、茨城県東海村の日本原子力研究所で、日本初の原子力発電が行われたのを記念、文部科学省

★LPガスローリーが歩道橋に衝突して引火爆発、7人死亡、21人負傷 兵庫・西宮 1965(昭和40)

★下水道工事現場マンホール内で硫化水素中毒、1人死亡、1人重体 茨城・古河 2010(平成22)

27日(金)★火力発電所で溶接作業中铁管が折れて落下、10人死亡、2人負傷 神奈川・横須賀 1961(昭和36)

★下水道用トンネル掘削中、掘削機に土砂・水が流入、2人死亡 高知・高知 2012(平成24)

★リニア中央新幹線トンネルの工事現場で崩落事故 作業員1人死亡、1人重傷 岐阜・中津川 2021(令和3)

28日(土)★濃尾地震(M8.4) 愛知・岐阜を中心に大地震、建物の全半壊22万戸、7,273人死亡 1891(明治24)

★化学工場の塩化ビニル製造プラントで爆発、1人死亡、23人負傷 新潟 1973(昭和48)

29日(日)★山形県酒田市で大火 強風下、商店街に燃え広がり約22㎡を焼損、1,004人死傷 1976(昭和51)

★首都高で過酸化水素積載走行中のタンクローリー爆発、防音壁が吹飛び 23人負傷 東京・港区 1999(平成11)

★雑居ビルで火災 新宿歌舞伎町の雑居ビルから出火、2人死亡、5人負傷、9月1日に44人の死者を出した雑居ビルのすぐ近く 2001(平成13)

30日(月)・上越自動車道の新潟県内の最後の約20kmが完成、全線開通 1999(平成11)

★コンクリ製造工場で砂搬送コンベヤー整備作業中砂のサイロ内に転落、1人死亡 三重・昭和町 2014(平成26)

31日(火)★河川工事現場で土砂崩落、生埋めになって1人死亡、2人重軽傷 山梨・北杜 2009(平成21)

★1992(平成4)年に復元された首里城が火災、正殿含む8棟焼失 沖縄・那覇 2019(令和元)

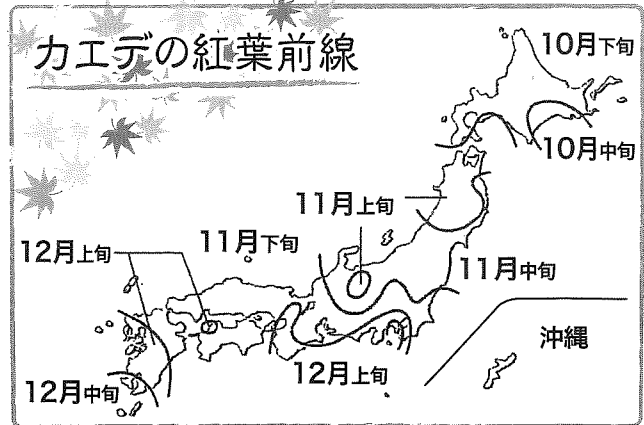
※「事故災害事例」は、国内の重大な事故・労災・気象災害等の中から選んでいます。

10月の安全衛生歳時記

10月の気象と安全・衛生・防災管理

	日の出・日の入		気温 (°C)	湿度 (%)	日照時間 (h)
	日の出	日の入			
北海道 (札幌)	5:47	16:53	12.1	67	145.9
青森	5:47	16:58	13.5	73	144.4
岩手 (盛岡)	5:45	16:57	12.6	78	141.3
宮城 (仙台)	5:44	17:00	15.7	72	147.0
秋田	5:49	17:02	14.5	73	143.1
山形	5:47	17:02	14.1	77	132.1
福島	5:46	17:02	15.6	73	133.7
茨城 (水戸)	5:44	17:03	16.6	79	140.6
栃木 (宇都宮)	5:47	17:05	16.7	74	140.3
群馬 (前橋)	5:50	17:09	17.1	68	155.6
埼玉 (熊谷)	5:47	17:07	17.6	71	144.1
千葉 (銚子)	5:45	17:05	19.2	77	137.9
東京	5:47	17:07	18.0	71	129.4
神奈川 (横浜)	5:47	17:07	18.5	71	137.3
新潟	5:52	17:07	16.7	72	138.2
富山	5:58	17:16	17.0	77	143.1
石川 (金沢)	6:00	17:18	17.6	70	152.0
福井	6:01	17:20	17.1	76	154.4
山梨 (甲府)	5:51	17:11	17.1	71	159.6
長野	5:54	17:12	14.4	75	152.1
岐阜	5:58	17:19	18.7	67	172.8
静岡	5:52	17:13	19.4	71	157.7
愛知 (名古屋)	5:58	17:18	18.6	68	168.9
三重 (津)	5:59	17:20	18.8	69	164.5
滋賀 (彦根)	6:02	17:23	17.7	74	163.0
京都	6:02	17:23	18.4	68	156.0
大阪	6:03	17:24	19.5	65	166.1
兵庫 (神戸)	6:04	17:26	19.8	64	169.8
奈良	6:02	17:23	17.2	77	152.1
和歌山	6:04	17:26	19.3	67	169.9
鳥取	6:09	17:29	17.2	76	146.1
島根 (松江)	6:13	17:34	17.4	76	154.4
岡山	6:09	17:31	18.0	71	171.5
広島	6:15	17:37	18.8	66	178.6
山口 (下関)	6:19	17:41	19.7	67	176.3
徳島	6:06	17:29	19.3	69	163.6
香川 (高松)	6:08	17:30	19.0	70	164.6
愛媛 (松山)	6:13	17:36	19.1	68	174.1
高知	6:10	17:33	19.9	68	179.6
福岡	6:22	17:46	19.6	68	175.9
佐賀	6:23	17:46	19.1	68	188.0
長崎	6:24	17:49	20.0	67	178.9
熊本	6:21	17:45	19.6	69	187.1
大分	6:17	17:41	19.1	70	164.2
宮崎	6:17	17:43	20.0	76	173.6
鹿児島	6:20	17:47	21.6	67	184.0
沖縄 (那覇)	6:28	18:02	25.5	72	163.3

※日の出・日の入：15日における時刻（国立天文台）
 ※気温：1991～2020年の平均値（理科年表）



●10月になると、移動性高気圧と低気圧が交互に通過するようになります。高気圧に覆われると「秋晴れ」ですが、天気が数日の周期で変わる、気象変化の大きい時期です。

●10月には全国的に30℃を超える真夏日になるなど記録的な暑さとなりましたが、翌週には各地で気温が一気に下がり、北海道では最低気温0℃未満の冬日を記録する地域もありました。下旬には冬日地点が急増し、初旬の暑さから一転、12月並みの寒さとなりました。

●今年も数日周期での天気の変化が予想されます。職場環境や体調管理に配慮しましょう。

●10月にも、大型で強い台風が上陸することがあります。近年では、令和元年台風19号が東日本と東北地方を中心に大雨と強風による多大な被害をもたらしました。また、令和2年台風14号、令和3年台風16号が関東・東海地方に、昨年も台風14号が九州地方、15号が東海から関東地方に上陸し、毎年のように被害が発生しています。

●10月の台風の特徴は、日本付近で急に速度を増すため、防災対策が後手に回りやすいので要注意です。

●一日の中でも朝晩の冷え込みが強くなる時期です。体調を崩さないよう注意をしましょう。

10月の安全衛生歳時記

10月1日～7日

第74回 全国労働衛生週間

目指そうよ二刀流 ころとからだの健康職場



9月1日から30日の「準備期間」に引き続き、10月1日から7日迄は、「令和5年度（第74回）全国労働衛生週間」です。

（主唱 厚生労働省、中央労働災害防止協会）
今年度のスローガンは「目指そうよ二刀流 ころとからだの健康職場」です。

働く上で基本となる健康の確保について、「ころ」と「からだ」の両面から対策を進めることで、誰もが快適で健康に働くことができる職場づくりを目指します。

労働者の健康をめぐる状況については、

- ・ 高齢化による一般健康診断の有所見率の上昇
 - ・ 疾病を抱えながら働く労働者の増加
 - ・ 女性の就業率上昇による働く女性の健康問題
 - ・ 転倒など、作業行動に起因する労働災害
 - ・ 過労死等の防止を含めた長時間労働による健康障害の防止対策やメンタルヘルス対策
 - ・ 全体の96%を占める、産業医の選任義務のない小規模事業場の健康確保対策
- など、多くの課題に関する取組が求められます。

また、化学物質による労働災害対策では、特定化学物質障害予防規則、石綿障害予防規則などの関係法令に基づく取り組みの徹底を図るとともに、各事業場におけるリスクアセスメントとその結果に基づきリスク低減対策の実施を促進していきます。

準備期間中（9月）の取組みを見直し充実させて、職場における今後の計画的・継続的な活動につなげていきましょう。

※詳細は「令和5年度全国労働衛生週間実施要綱」を参照

10月の安全衛生歳時記

10月10日 目の愛護デー

保護メガネなどはきちんと着用していますか？
目を酷使していませんか？



10月10日は「目の愛護デー」（主催 厚生労働省、日本眼科医会）です。

この日が目の愛護デーに選ばれたのは、10と10を横に並べると、眉と目に見えるという理由からです。

昭和6年に「視力保存デー」として制定され、当時の衛生状態による失明を予防する運動として行われました。その後、昭和22年に「目の愛護デー」として、普段忘れがちな目の健康を考える日として現在に至っています。

近年、作業の精密化、パソコンなどによる事務作業や情報共有の一般化、また、テレビやスマホを長時間見る、睡眠の直前までスマホを使用するなど、目を酷使する機会が増え、目の疲れがなかなか解消しない眼精疲労の症状により、日常生活に支障をきたすケースが増えています。

一方、中高年の失明原因の1位は緑内障、2位が糖尿病網膜症で、網膜色素変性症、加齢黄班変性がそれに続きます。また、網膜剥離や白内障も視力を低下させる病気です。目の健康を守るために、40歳を過ぎたら年に一回は眼科検診を受けましょう。

また職場には、化学物質や切削粉塵、溶接アークや殺菌灯などの有害光線など、目に障害をもたらす物質・作業があります。

目の保護具は作業に合ったものを使用する必要があります。遮光保護具や保護メガネなど目の保護具の適切な選択や使用・保守点検状況を確認しましょう。

この機会に、職場や私生活での目の安全と健康について見直して、改善しましょう。

10月の安全衛生歳時記

9月・10月

自動車点検整備推進運動強化月間

あなたと社会の未来が変わる！

点検整備の大事なコト

装置別故障発生件数及び割合 (令和3年度)

	装置名	発生件数	割合(%)
1	電気装置	33,741	39.8
2	走行装置	27,611	32.6
3	エンジン本体	7,118	8.4
4	燃料装置	6,985	8.2
5	動力伝達装置	3,528	4.2
6	冷却装置	2,870	3.4
7	電子制御装置	1,089	1.3
8	潤滑装置	835	1.0
9	制御装置	651	0.8
10	かじ取り装置	363	0.4
	総計	84,791	100

※令和3年9月～11月 国土交通省, JAF 調査

9月と10月の2カ月間は、「自動車点検整備推進運動強化月間」です。(推進機関・国土交通省 自動車点検整備推進協議会 後援・警察庁ほか)

自動車点検整備推進運動は、年間を通じて実施されていますが、特に9月を全国統一強化月間とし、また、10月を地域の実情等を考慮した地方独自強化月間として設定し、各取組を強力に推進するとしています。



自動車は国民生活や経済発展に不可欠なものです。一方、交通事故件数は年々減少しているものの、依然として厳しい状況にあります。

トラックなど大型車の車輪脱落事故、また、バス等では使用年数の長い車両が運用されていることが少なくなく、車体フレーム腐食による事故や火災事故も目立つなど、自動車の不具合による事故が発生しています。

衝突被害軽減ブレーキなど先進安全技術を備えた自動車についても、使用中の不具合が予期せぬ事故につながります。

車検(自動車の検査)制度は、安全・環境面で国が定める基準に適合しているかどうかを一定の期間ごとに確認するものですが、次の検査までの安全性等を保証するものではなく、使用者は日常点検整備や定期点検整備、使用に応じた適切な保守点検を行う必要があります。しかし、その実施状況は十分でないのが実態です。

クルマの点検・整備はクルマを守るだけでなく、自分や人の命、環境を守ることもつながります。点検・整備を確実に実施しましょう。

10月23日～29日

高圧ガス保安活動促進週間

ささいな予兆も見逃さない 我ら現場のプロ集団

高圧ガス保安法関係事故件数の推移 [高圧ガス保安協会資料]

区分	年	平成12年	平成13年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
製造事業所	冷凍	6	7	271	330	306	260	281	(272)
	コンビナート	5	4	45	88	78	108	115	(115)
	LP	4	6	11	28	37	23	17	(30)
	一般	18	15	143	162	154	125	129	(140)
	計	33	32	470	608	575	516	542	(557)
移動		19	25	18	20	26	15	22	(26)
消費		42	49	73	74	44	55	60	(41)
その他		5	16	17	20	15	15	16	(16)
合計		99	122	578	722	660	601	640	(640)

※事故：爆発、火災、噴出・漏えい、破裂・破損 ※令和4年12月末現在（令和4年は速報値）

10月23日から29日の1週間は、令和5年度「高圧ガス保安活動促進週間」です。
 （主唱：経済産業省・高圧ガス保安協会）
 高圧ガス（一般消費者等が使用する液化石油ガスも含む）の保安に関する活動を促進し、高圧ガス等による事故・災害の防止を目的として実施されます。

平成12年まで、年間100件前後で推移していた高圧ガス関係事故件数は、平成13年から増加を続け、近年は500～600件を超える高止まり状態が続いています。（上表）

近年発生した事例としては、令和2年7月、福島県郡山市の改装中の飲食店で、配管の腐食部分から漏えいして充満したプロパンガスが爆発1人が死亡、19人が重軽傷を負い、半径約600mに被害が及ぶという大爆発事故がありました。近年の高圧ガス関係の事故を原因別にみると、ハード面では、腐食管理不良、シール管理不良、点検不良、締結管理不良など、設備の維持管理不良によるものが多く、中でも特に、腐食管理不良によるものが多くなっています。

また、人的要因としては、誤操作・誤判断によるものが多くを占めています。

職場には、高圧ガスや液化石油ガス関係の設備や機械等が存在し、同様の問題が考えられます。この機会に高圧ガス等の保安活動を見直して、事故・災害につながる小さな予兆も見逃さないよう、防止対策を徹底しましょう。